

問1 鎌倉時代に北条泰時が「御成敗式目」を制定した最大の理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 広島公立入試 類似）

1. 朝廷が定めた律令を全国に広め、天皇による法治国家を再建するため
2. 地頭と荘園領主間の紛争を公平に裁く基準を設け、武士社会の安定を図るため
3. 守護大名による領国支配を強化し、幕府の権威を全国の農民に知らしめるため
4. 蒙古襲来に備えるため、武士に対して軍役や奉公の義務を厳格に定めたため

問2 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府の支配力が西日本まで及びようになると、各地で地頭と荘園領主との間の紛争が急増しました。これに対し、3代執権の北条泰時が、御家人同士や地頭と領主の争いを公平に裁くための基準として1232年に制定した、武士独自の法を何と称しますか。（2023年 山口公立入試 類似）

1. 御成敗式目（貞永式目）
2. 公事方御定書
3. 十七条の憲法
4. 建武式目

問3 鎌倉幕府において、初代将軍である源頼朝の死後、その妻の家系である北条氏が代々就任した役職を何と称しますか。将軍を補佐し、実質的な幕府の最高権力者として政務を統括した職名を答えなさい。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 執権
2. 管領
3. 評定衆
4. 探題

問4 11世紀末、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪回するため、ローマ教皇の呼びかけに応じて組織された軍隊を何と称するか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 十字軍
2. ルネサンス
3. 大航海時代
4. プロテスタント

問5 平安時代から鎌倉時代にかけての宗教の変遷について述べた文章のうち、正しいものはどれですか。当時の状況として、平安時代には阿弥陀如来を信じてその名を唱える修行が普及し、鎌倉時代には自らの力で悟りを開く修行が武士の間で支持された背景をふまえて答えなさい。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 平安時代には浄土教による念仏が広まり、鎌倉時代には禅宗による座禅が広まった。
2. 平安時代には禅宗による座禅が広まり、鎌倉時代には浄土教による念仏が広まった。
3. 平安時代には祈祷による加持祈祷が広まり、鎌倉時代には写経による供養が広まった。
4. 平安時代には写経による供養が広まり、鎌倉時代には祈祷による加持祈祷が広まった。

問6 東大寺南大門の金剛力士像を制作した運慶や快慶らが活躍した時代は、彫刻においても「写実的で力強い」表現が好まれました。このような文化が生まれた背景や特徴について説明したものと、最も適切なものを選択してください。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 武士が政治の実権を握り、彼らの力強さや素朴さを好む気風が反映されたため
2. 国風文化の影響が強まり、貴族の好む繊細で優美な様式が完成されたため
3. 遣唐使によってもたらされた唐の進んだ技術が、国際色豊かな表現を生んだため
4. 江戸の町人による経済発展を背景に、華やかで豪華な装飾が好まれたため

問7 鎌倉時代において、3代執権の北条泰時が制定した、武士社会の慣習に基づいて裁判の基準を明確にした法典の名称を答えなさい。（2025年 栃木公立入試 類似）

1. 御成敗式目
2. 武家諸法度
3. 養老律令
4. 十七条の憲法

問8 鎌倉幕府を支えた「御恩と奉公」の仕組みにおいて、御家人が将軍に対して果たすべき義務である「奉公」の具体的な内容を説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2018年 高知公立入試 類似）

1. 平時に京都や鎌倉の警備を担当し、戦時には軍勢として合戦に参加すること
2. 執権として将軍を補佐し、幕府の政治や裁判の実務を代行すること
3. 自分の所有する土地をすべて将軍に寄進し、小作人として耕作に励むこと
4. 幕府の役職である管領に就任し、将軍の跡継ぎ問題を調整すること

問9 鎌倉幕府の組織図において、執権の管理下に置かれ、侍所・政所・問注所といった中央機関と並んで重要視された地方機関があります。この機関の名称と、その設置の契機となった出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 香川公立入試 類似）

1. 名称：六波羅探題、出来事：承久の乱
2. 名称：鎮西探題、出来事：元寇（文永の役・弘安の役）
3. 名称：京都所司代、出来事：関ヶ原の戦い
4. 名称：鎌倉府、出来事：室町幕府の成立

答え合わせ・解説

問1	答え 2 地頭と荘園領主の間の紛争を公平に裁く基準を設け、武士社会の安定を図るため	承久の乱の後、幕府は多くの「新補地頭」を任命しましたが、彼らが荘園領主に納めるべき年貢を滞らせるなどのトラブルが絶えませんでした。当時はまだ朝廷の律令や複雑な慣習が裁判の基準となっており、武士にとっては不利なことも多かったため、泰時は武士の道理や慣習に基づいたわかりやすい裁判の基準を示し、幕府による公正な支配を確立しようとしていました。
問2	答え 1 御成敗式目（貞永式目）	承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、西日本の朝廷側の領地に地頭を任命するなど、その支配力を全国へと広げました。しかし、地頭の勢力拡大にともない、土地の境界や年貢の納入をめぐるトラブルが多発したため、北条泰時は武士の慣習や「道理」を基準とした公平な裁判を行うためにこの法を定めました。これは武士による最初の体系的な法律です。
問3	答え 1 執権	源頼朝の死後、幕府の運営は有力御家人による合議制を経て、北条氏が独占的に政治を主導する体制へと移行しました。北条氏は「執権」という将軍の補佐役の地位を世襲し、承久の乱などを経てその権力を不動のものにしました。管領は室町幕府において将軍を補佐した職名であり、評定衆は幕府の合議機関の構成員を指します。
問4	答え 1 十字軍	1095年のクレルモン公会議において、ローマ教皇ウルバン2世が聖地奪回を呼びかけたことで結成されました。この遠征は断続的に約200年間行われました。
問5	答え 1 平安時代には浄土教による念仏が広まり、鎌倉時代には禅宗による座禅が広まった。	平安時代の中期から後期にかけて、阿弥陀如来を信じて「南無阿弥陀仏」と唱えることで極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土教（念仏）が貴族から民衆へと普及しました。これに対し、鎌倉時代には中国から禅宗が伝わり、自ら座禅を組む修行によって悟りを開こうとする教えが、規律を重んじる武士の気風に受け入れられ、幕府の保護を受けて発展しました。
問6	答え 1 武士が政治の実権を握り、彼らの力強さや素朴さを好む気風が反映されたため	鎌倉文化は、新興勢力である武士の気風や、新仏教の普及による民衆のエネルギーを反映しています。そのため、平安時代の貴族的な「繊細・優美」なスタイルとは異なり、現実をありのままに捉えようとする「写実的」な表現や「力強さ」が重視されました。運慶らの彫刻は、その精神を象徴する代表的な事例です。
問7	答え 1 御成敗式目	1232年（貞永元年）に北条泰時が制定した日本初の武家法です。承久の乱の後、幕府の支配力が広がる中で増加した土地争いなどの裁判を公平に行うため、武士社会の道徳や慣習をもとに作られました。後の時代の武家法の基本となりました。
問8	答え 1 平時に京都や鎌倉の警備を担当し、戦時には軍勢として合戦に参加すること	御家人は将軍から受けた恩恵に報いるため、軍事的な役割を果たす必要がありました。これには、京都の警備を行う京都大番役や鎌倉の警備を行う鎌倉番役、そして有事の際に武装して駆けつける軍役などが含まれます。選択肢にある「執権」は北条氏が世襲した役職であり、「管領」は室町時代の役職であるため、鎌倉時代の一般的な御家人の奉公とは区別する必要があります。
問9	答え 1 名称：六波羅探題、出来事：承久の乱	六波羅探題は、鎌倉幕府の職制において執権（北条氏が世襲した役職）の下に置かれた非常に重要な地方機関です。1221年の承久の乱に勝利した結果、それまで上皇の勢力下にあった西国の支配権を幕府が握ることになり、その統治のために設置されました。鎮西探題は九州の防衛、京都所司代は江戸幕府の機関、鎌倉府は室町幕府の機関である点に注意してください。